

3年生の保健講話を行いました！

昨年12月23日（木）に島根大学医学部附属病院より、本田聡先生にお越しいただき、性に関する内容でお話いただきました。3年生の顔を上げてしっかり話を聞く姿が印象的でした。1, 2年生にもぜひ知っておいて欲しい内容なので、一緒に振り返っていきましょう！

まず**#つながるBOOK**をもとに、「恋愛ってしなきゃだめなの？」「付き合ったらSEXしなきゃいけないの？」などについてお話をさせていただきました。

性に関する内容が分かりやすくまとめられています。ぜひ、チェックしてください。

#つながるBOOK



まず、SEXには「**性的同意**」がとても大事であることを学びました。

「**性的同意**」とは、SEX等をする前に、「**お互いの意思を確認すること**」です。

「相手」「場所」「方法」「時」このすべてについて、お互いが同意することが大事です。

自分と相手の人権を守るために、どちらかが「イヤ」な時は「イヤ」なことはしない。

どちらかが同意していないのに、相手に求める場合は、**デートDV**になります。

3年生の感想では、

では、「**デートDV**」とは？

“**「デートDV」を初めて知った**”という意見が多く見られました。

カップル間で起こる様々な「暴力」のことで、

相手を自分の思いどおりにしようとする行為です。

- ①束縛の暴力（例：メールなど返事が遅いと怒る。）
- ②心の暴力（例：機嫌が悪いと無視をする。）
- ③性的暴力（例：無理やりキスやSEXをする、避妊や感染症予防に協力しない。）
- ④経済的暴力（例：お金を貸したけど返ってこない。男ならデート代は払って当然という考え。）
- ⑤身体的暴力（例：殴る、蹴る）



相手に「NO」と言っても続く関係が大事。

【3年生感想より】

- ・嫌なことは嫌と言える関係性を相手と築いていけるといいなと思いました。
- ・いやと伝える勇気も必要だけど、いやという気持ちを受け入れる気持ちも大切な事だと思いました。

Q. 高校生でSEXをしてもいいですか？

A. 自分と相手の人生に責任がとれますか？

というのも、**100%避妊や性感染症を予防できる方法はない**からです。

まず、避妊には3つの方法があります。

- ①**コンドーム**・・・ただし失敗率15%と高め。
- ②**低用量ピル**・・・女性の飲み薬。生理痛や生理不順の治療薬としても使用。性感染症は防げない。
- ③**IUS**・・・子宮内に器具を挿入。医師による装着、除去が必要。性感染症は防げない。

コンドームと低用量ピルを一緒に使うことで、避妊できる可能性は高くなりますが、それでも

100%避妊できる方法はありません。

もし、避妊に失敗したと思ったら、「**アフターピル**」という方法があります。性交渉のあと、**72時間以内**に女性が飲む薬。今の日本では医療機関で処方してもらう必要があります。

費用は6,000円~20,000円くらい。

次に、**性感染症**のリスクについてです。

性感染症は性的接触が原因で起こる感染症です。

感染症は症状がある場合もあれば、**症状が出ない**場合もあります。

口やのど、性器や肛門に症状があれば受診！
女子は婦人科、男子は泌尿器科へ。

症状に気づかず、がんや不妊症の原因
になることもあります。

感染症予防には、**コンドームの使用**が1番です。

ただし、**全ての感染症をコンドームで防げるわけではありません。**

例えば、がんの原因にもなるHPV（ヒトパピローマウイルス）はコンドームでは防げません。予防法として、ワクチン接種があります。小6~高1までは無料で接種することができます。



本田先生より

イヤなら「イヤ」と勇気をもって言おう！

愛情と知恵を持って、コミュニケーションを大切に！

【3年生感想より】

- ・お互いの気持ちを尊重することや、心のつながりを大事にして、ゆっくりと時間をかけて人間関係を作ることが大切だということが分かりました。
- ・どういう場合であっても、知識があることは大切なことだから、“知っておく”というのは大事だなと思いました。